

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

後期

科目No.	255	科目名	生物総合評価管理学特論3		サブネーム	生物種の多様性とその利用			
連携機関名		レベル	基礎～中級		講義枠	月曜日	講義時間	18:30～20:00	
科目概要	種の多様性は、世界の環境変化への適応の結果であり、その多さが知られている。ブラジルのリオ宣言(1992)で述べられている「種の多様性」の具体的な例を紹介するとともに、資源保有国と資源利用国の係りについて紹介する。								

サブタイトル	Nº	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
種の多様性とは何か	1	生物分類学から見た種の多様性	生物界の種の多様性を生物を紹介しながら、系統発生的な面から紹介する。微生物は進化しているのか、いないのか、植物はなぜ花をつけるのか、植物はどうして名前をつけるのかなどについて解説する。	10月2日	1号館204	佐竹 元吉	お茶の水女子大学 生活環境研究センター
	2	植物分類学の歴史	植物を識別するにはその特徴を捉えて比較することが大切である。植物に関する最初の書籍では、中国でもギリシャでも薬草の利用別に区分されていた。そして利用部位や芳香性の有無、高低などが活用され生育環境での比較が行われるようになった。そして17世紀に花の形態から分類する方法が確立され、現在に至った経緯を解説する。	10月16日			
	3	リンネの分類学	植物の生殖器官である花に注目した分類体系を作り、その後、種々の視点からの分類が行われてきた経緯を解説する。	10月23日			
	4	身近な植物(実習1)	植物の分類上の観点から実際に植物の形態観察(花と果実について)を行う。	10月30日			
	5	身近な植物(実習2)	植物の分類上の観点から実際に植物の形態観察(葉と茎、根について)を行う。	11月6日 休講			
	6	現在の植物分類学	近年、植物の進化の過程を考慮した分類学が盛んになってきた。遺伝子の特徴を捉えた系統分類学について解説する。	11月13日			
遺伝子資源	7	世界の遺伝資源(1)	世界的な植物変異と総合的な植物区系について解説する。	11月20日		関田節子*	徳島文理大学薬学部 (香川校)
	8	世界の遺伝資源(2)	世界的な植物変異と植物区系(アジアの温帯)について解説する。	11月27日		佐竹 元吉	お茶の水女子大学 生活環境研究センター
	9	世界の遺伝資源(3)	世界的な植物変異と植物区系(アジアの熱帯)について解説する。	12月4日			
	10	世界の遺伝資源(4)	世界的な植物変異と植物区系(アンデス地域)について解説する。	12月11日			
	11	世界の遺伝資源(4)	世界的な植物変異と植物区系(アマゾン地域)について解説する。	12月18日			
医薬品の原料探索	12	薬用植物の種類と成分	現在医薬品とされているものの中で、多数の植物オリジンの物がある。これらの植物を紹介する。	1月15日			
	13	活性成分の分離	二つの成分分類方法について紹介する。一つは既に利用されていた植物の活性フラクションの分析方法、他の一つは無作為に収集した植物材料からの抽出方法である。	1月22日			
	14	抗感染症の薬の開発	リュシュマニアの治療薬の開発を例にして抗感染症薬の開発について解説する。	1月29日			
まとめ	15	種の多様性と薬用植物の関係	WHOの天然資源の保護と利用に関するガイドラインについて紹介する。	2月5日			

06/6/15訂正、06/11/1再訂、06/12/24三訂

*11月20日の講義は佐竹先生から関田節子先生に交代、講義名は「感染症と薬用植物」に変更。